

2026 年度 小規模多機能ホームもちもちの木 事業計画書

<事業の種類>

介護保険法における地域密着型サービス

小規模多機能型居宅介護事業（介護予防小規模多機能型居宅介護事業）（登録 29 名）

<事業の目的>

介護保険法に従い、ご契約者（利用者）が家庭的な環境と地域住民との交流の下で、居宅においてその有する能力に応じた自立した日常生活を営むことができるよう、通いを中心とした小規模多機能型居宅介護サービスを提供する。

<運営方針>

- 1 サービスの提供にあたっては、誠意を持って笑顔で丁寧に対応する。
- 2 利用者、家族に対しサービス提供方法等について丁寧、詳細に説明を行う。
- 3 事業所は、通いを中心として利用者の状態、家族の状況に合わせて随時訪問や宿泊を組み合わせたサービスを提供することにより、住み慣れた家で暮らし続けられるよう支援する。
- 4 事業の実施にあたっては、福崎町、地域包括支援センター、地域の保健・医療・福祉サービスの提供主体との綿密な連携を図り、総合的なサービスの提供に努める。

<SWOT分析>

【強み】（事業所の持つ強み）

- イ）小規模での利用となる為、職員による個別ケアが実践できる。
- ロ）近隣居宅への毎月の営業活動やケアマネ連絡会を通じて顔の見える関係性作りを行っており、新規利用者の登録にもつながっている。また、もちもちの木の空き状況や利用例等を説明しており、毎月新しい情報提供を行っている。
- ハ）サービス提供時間も融通が利き、利用者の体調や家族の都合に合わせたサービスの組み合わせが行える。また、食事や入浴のみといった利用者のニーズに焦点を合わせたサービス提供が可能である。
- ニ）利用者家族と連絡帳を介して連絡を取り合い、友好的な関係が築けている。
- ホ）利用者家族より利用してから明るくなった、利用して良かったと意見を聞く事がある。
- ヘ）毎月季節に合った外出、作品作り等の行事を行っている。
- ト）毎日体操やリハビリを実施し、在宅生活が継続できる様支援を行っている。
- チ）内服の確認や日々のバイタル測定等の訪問サービスを利用する事により、安心して在宅生活を継続する事ができる。
- リ）法人内で様々なサービスがある為、在宅での生活が難しくなった際にもニーズに合ったサービスの紹介ができる。
- ヌ）花さきデイサービスよりもちもちの木へサービスを移られる方も多数おられる。

【機会】（自事業所にとってビジネスチャンスとなる要因）

- イ) 近隣の自治会、民生委員が協力的である。
- ロ) 福崎町内他居宅より福崎町地域包括からの紹介が多く、役場等との関係も良好である。
- ハ) 地元自治会よりミニデイサービスへの協力要請を受け参加しており、2025 年度より西治地区だけでなく、新町地区でもミニデイの協力依頼があり、参加している。
- ニ) 自治会より様々な行事の招待を受け、地域とのつながりがある。
- ホ) 地域の資源が豊富にある。
- ヘ) 利用者の聞き取りを行う上で自宅での生活を続けたいという方が多い。
- ト) 2024 年度より福崎町で認知症カフェを開催し、地域に住まわれている多数の方々に参加頂いている。
- チ) 福崎町地域包括や居宅支援事業所からだけでなく、老人保健施設等からも問い合わせを頂き、登録に繋がっている。
- リ) 見学された方や緊急でショートステイを利用された方がもちもちの木を気に入られ、そのまま登録へと移行される事がある。
- ヌ) 社会福祉協議会より町内の小学校、中学校へ車イス教室の依頼を受けている。

【弱み】（自事業所が抱える弱み、弱点）

- イ) 職員の平均年齢が高い。
- ロ) 職員間で介護技術にバラつきが生じている。
- ハ) 自宅での生活が困難となってきた場合や、サービス制限が無く料金も 1 カ月の包括料金の為、通いや泊りの利用日数を増やしたいと家族より相談を受け、入所施設へ申し込みを行うが、その間施設で通いや泊り利用者が増加し、定員いっぱいとなる事で新規利用者等の利用枠が無くなってしまう。
- ニ) 利用者の介護度が低ければ採算が合わず、高すぎると在宅での生活が困難となってしまう、特別養護老人ホーム、グループホーム等の入所系サービスへ移られる事がある。
- ホ) 他事業所の福祉サービスを組み合わせた金額より利用料金が高額になる事がある。
- ヘ) 訪問サービスを行う時に食事の準備や内服の確認等、同じ時間帯でのサービスが重なり、対応が困難になったり、施設内で業務を行う職員が手薄となってしまう。
- ト) 看護職員が常時出勤していない為、インスリン注射等の医療ケア対応では限られた曜日、時間にしか対応ができない。
- チ) 介護保険負担限度額認定を受けても利用ができない。
- リ) 利用者の当日施設利用者人数に合わせて職員配置時間が決まり、人員不足により受け入れ利用者数が制限されてしまう。

【脅威】（自事業所にとって、障害やピンチとなる要因）

- イ) 小規模多機能居宅介護というサービスが世間一般に浸透しておらず、サービス内容を理解していないケアマネジャーもいる。
- ロ) 福祉業界は一般業界に比べ就業率が低く、人材確保が困難にある。
- ハ) 利用者がコロナウイルスやインフルエンザウイルス等の感染症に罹患されると、もちもちの木の施設利用者自宅での生活が困難となり、入院されたケースが多数ある。
- ニ) 福崎町内では独居生活者が多く、要介護度が高くなると介護報酬は高くなるが、入院さ

- れる事が多く、退院後も状態変化により、在宅での生活が難しくなると考えられる。
- ホ) 今後の介護保険改定によりデイサービスが複合型サービスとして、迎え時に準備等を行う事ができるようになる可能性があり、小規模多機能として差別化を図る必要がある。
- へ) 介護保険更新の際、全体的に介護度が低下傾向となっている現状が見られる。

<事業計画>

- 1 利用者がいつまでも在宅での生活が続けられる様に支援を行う。
 - ・ 利用者が自宅での生活を継続できる様、現在困っている事を随時聞き取り、問題解決に向けて個別に柔軟な対応を行う。…【強み】イ、ハ、ニ、チ 【機会】へ 【脅威】ニ
 - ・ 利用者の思いや、家族から要望の聞き取りができる様、自宅への訪問や電話、連絡帳を活用し、情報交換を行う。…【強み】ニ、ホ
 - ・ 利用者本人の意思を確認しながら在宅生活が継続できる様、介護度の重症化や、下肢筋力低下の予防を行う。…【強み】イ、ハ、チ 【機会】へ 【脅威】ニ
 - ・ 四季折々の様々な行事を計画、実施し、利用者の楽しみを提供する。
…【強み】へ 【機会】ホ
 - ・ 地元に根差し、地域への外出や地元住民との交流を行う事により、いつまでも利用者の顔見知りの方との交流が継続できる様支援を行う。
…【機会】イ、ハ、ニ、ホ、ト
- 2 質の高いサービス提供すると共にリハビリ、余暇活動を通して介護の重度化予防を行う。
 - ・ 職員へ様々な研修を行う事で、スキルアップを図り、マンパワー向上に努める。
…【弱み】イ、ロ、ハ 【脅威】イ、ロ
 - ・ 様々な体操や認知症予防運動プログラム、リハビリ機器を使用し、現在の運動能力を維持する事で、在宅での生活を継続できる様支援を行う。…【強み】ト
【弱み】ニ、ホ 【脅威】ニ
- 3 事業所は地域、利用者、利用者家族等様々な方から信頼され、喜ばれる地域に開けた施設運営を行う。
 - ・ 認知症カフェの開催や地元自治会の盆踊りやミニデイ等の催し物、町内のイベントに参加し、地域の方々と顔なじみの関係になれる様地域に顔を出していき、信頼関係を築き、施設に触れて頂ける機会を作る。…【機会】イ、ハ、ト、ヌ 【脅威】イ
 - ・ 運営推進会議を開催した際に事業所の運営、利用状況等を地域住民、利用者家族へ説明し、理解を得られるよう協力を求めている。…【強み】ニ、ホ 【機会】イ、ロ
【弱み】ハ、へ 【脅威】イ、ニ
 - ・ 利用者、家族へもちもちの木でのサービスや自宅での生活や困り事について日常生活の観察、利用者、利用者家族より随時聞き取りを行い、ニーズを把握し必要とあれば法人内他サービスへの紹介を行う。…【強み】ニ、リ 【弱み】ハ、ニ、ト
【脅威】ニ
 - ・ 近隣居宅、福崎町地域包括へ訪問活動を行い、現在利用されている利用者の利用例を提示しながら、小規模多機能の強みである利用時間の融通等小規模多機能を利用する

メリットを知って頂き、新規利用者の紹介に繋げる。…【強み】イ、ロ、ハ、ト、チ
【機会】ロ、チ 【脅威】イ

<一日の流れ>

6:45	起床・洗顔・着替え
7:30	朝食
8:15	通い利用者随時到着、手洗い、うがい、健康チェック
9:40	朝礼、ラジオ体操
10:00	集団レクリエーション、コグニ体操
11:30	昼食準備・口腔体操（パタカラ体操、早口ことば）
12:00	昼食
14:00	入浴、個別レク、個別リハビリ
15:00	喫茶・おやつ
15:30	洗濯物たたみ、余暇活動、個別リハビリ
16:15	通い利用者順次帰宅
17:30	夕食
18:30	着替え、就寝準備
19:30	就寝

<年間行事>

月	内容
4月	お花見会（福崎町西治ちょうちん山ふれあい広場） 昼食会（焼きそば）
5月	○グリーンエコー笠形ヘドライブ、端午の節句行事
6月	紫陽花見学（あじさいの小道）、みかさ作り、さつまいも苗植え
7月	七夕会、昼食会（たこ焼き）外食（もちむぎの館）
8月	☆地元自治会盆踊り、喫茶外出（明日香 福崎店） カキ氷、水まんじゅう作り
9月	☆福崎幼稚園・福崎小学校・福崎西中学校の運動会見学 敬老月間外食（ ニューサンピア姫路ゆめさき ）、お月見団子作り
10月	☆地元秋祭り見物 昼食会（お好み焼き）、牛乳寒天作り
11月	☆福崎幼稚園・福崎小学校音楽会見学、紅葉狩り（弥勒寺） さつま芋おやつ作り
12月	イルミネーション外出、クリスマス会
1月	初詣、正月遊び、ぜんざい作り
2月	節分行事、昼食会（粕汁）
3月	観梅ドライブ、ひな祭り
随時	☆ボランティアによる踊り・演奏

※ 外出、昼食会、おやつ作りは新型コロナウイルス感染対策を行い、計画、実施予定

※ ☆印は招待、問い合わせがあれば参加予定

※ ○印は地元ボランティア付き添い行事

<年間目標>

利用者平均登録	21 人	(2026 年 (令和 8 年) 1 月末	平均登録	20.1 人)
平均介護度	2.5	(2025 年 (令和 8 年) 1 月末	平均介護度	2.3)

<目標設定の根拠>

2026 年 (令和 8 年) 1 月末現在で月平均登録者が 20.1 名と昨年度同時期に比べ 1 名となっている。

問い合わせ件数、新規登録者の人数は昨年度より増加しているが、2025 年 3 月に 3 名登録解除となった事が響き、登録者増加にはつながっていない。

また、職員配置の関係によりもちもちの木施設での通い利用者数にも影響があり、登録者の増加も難しくなっている。

その為、職員配置に影響が少なく、達成可能である 21 名を目標とする。

<目標達成の為の具体策>

2026 年 (令和 8 年) 1 月現在で登録者が 21 名 (内 2 名入院) となっている。毎日もちもちの木施設利用されている方が翌月 2 月にグループホーム入所予定となっている為、空いた枠に新規利用者獲得を目指す。

具体策として、月に 1 回の地域包括、近隣居宅への訪問活動を行い、現在もちもちの木で短期入所を利用中の利用者、利用者家族へもちもちの木登録のメリットを説明、登録の提案を行う。

また、2025 年度下半期に利用者入院が相次いだ為、利用者の状態把握に一層取り組み、早期発見、受診につなげ、長期の入院を回避していく。

1. 花さきデイサービスと合同で月初めに近隣居宅、地域包括支援センターへ営業活動を行い、空き情報の提示を行う。また、居宅訪問時にケアマネジャーへ小規模多機能のメリットや利用の対象者を明確に説明する。…【強み】イ、ロ、ハ、ト、チ
【機会】ロ、ヘ、チ、リ 【脅威】イ、ホ
2. 職員の育成として、定期的な勉強会を開催し、介護技術の向上やパソコンの入力、ICTに関する知識を身に付け、利用者への対応、接遇や気づき等の様々なスキルアップに取り組み、職員の介護技術を一定水準に引き上げ、日常業務の効率化を図る。…【弱み】イ、ロ、ヘ 【脅威】ロ
3. 地域貢献の一環として介護に関し、地域住民や認知症当事者、家族が安心して住み慣れた地域での生活が継続できる様、認知症カフェを通じて情報発信、収集を行い、現在地域、家庭で抱えている課題の解決の一助とする。そして様々な環境、立場の人が互いに寄り添えるような集まりの場へと発展させる。…【機会】イ、ト、ホ
4. 利用者のバイタルや日々の変化、状態把握に努め、導入している介護ソフトを通じて職員全員が随時確認できる様体制を整える。また、体調不良時には速やかに家族へ連絡し、受診の打診を行う等、利用者家族へ情報提供、連携をとっていく。
…【強み】イ、ニ、ホ、チ 【機会】ヘ 【脅威】ハ、ニ

5. 家族、ケアマネより相談、紹介を受けた際には前向きに検討し、日中の利用者枠が埋まらないように配慮しながら利用者のニーズに合ったサービスを提案し登録に繋げるが、必要とあれば法人内の様々なサービスの紹介も行い、利用者に合ったサービスの提供が出来る様にする。
- また、現在登録されている利用者の状況を家族へ適宜報告し、必要とあれば法人内の他居宅サービスや施設サービスへの提案を行い、移行をスムーズに行える様に情報提供に努める…【強み】ハ、ト、チ、リ、ヌ 【機会】ヘ、チ 【弱み】ハ、ト 【脅威】ニ
6. 利用者の思いである自宅での生活を継続したい、暮らし慣れた家で生活したいという思いを尊重し、自宅で生活を行う上で困難となっている点を拾い出し、訪問で対応が可能であれば家族へ相談し、施設ではなく、自宅での生活が継続できる様支援を行う。…【強み】イ、チ、 【弱み】ハ、ヘ